

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
保育の表現技術Ⅱ Expression skill of childcare Ⅱ		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程選択必修)	こどもフィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
保育の表現技術Ⅰ、造形表現Ⅰ、造形表現Ⅱ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
田村田	授業中に指示します	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
保育の現場における造形表現活動の内容を考案し、それぞれの内容について目標、題材、指導方法等の研究を、自己の作品作りを通して子どもの遊びを豊かに展開するために必要な知識と技術を習得する。また造形表現Ⅰ・造形表現Ⅱで学習した基礎の上に、制作体験等で個人の表現と集団での表現の違いを深め楽しむことができる。				
授業の目標				
①素材の持つ造形上の特性についての理解を深めることができるようにする。 ②様々な表現方法から展開する造形活動を通して、自己の表現を構成する力と子どもの遊びを展開するための知識を育むことができるようにする。 ③造形活動に必要なアイデアを様々な関連から展開する力を育てることができるようにする。 ④共同制作に取り組むことにより、集団の表現を体験することができるようにする。 ⑤講評会にてイメージ、構想、表現を交流することで、表現方法の違い、意図、工夫を発見し、お互いを認め合うことができるようにする。				
授業の方法				
課題の制作、講評会の発表（制作は個人の取り組みとグループでの取り組みの両方で行います。） 学生同士で作品に対しての意見交換をすることで自身の作品を振り返る。				
学習の成果（学習成果）				
①様々な素材との触れ合いの中で、造形表現のための基礎能力を高め、制作する過程で工夫する力を育み、指導者としての「表現力」と「観賞力」を高めていくことができる。 ②造形表現Ⅱで学習した基礎を行かした共同制作をすることができる。 ③表現活動に係る教材等の活用や造形表現とをむずびつける遊びの展開を習得する。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（美術教育の意味、授業内容、用具、評価等の説明）			
第2回目	様々な素材を組み合わせたコラージュ表現—① 「切る、貼る、描く」（素材研究）			
第3回目	様々な素材を組み合わせたコラージュ表現—② 「切る、貼る、描く」（表現する、創意工夫）			
第4回目	様々な素材を組み合わせたコラージュ表現—③ 「切る、貼る、描く」（まとめ）			
第5回目	モバイル造形—① 「空間デザインの制作」（素材研究）			
第6回目	モバイル造形—② 「空間デザインの制作」（表現する）			

第7回目	モバイル造形—③ 「空間デザインの制作」 (創意工夫、まとめ)	
第8回目	作品講評会	
第9回目	平面造形—① 「型押し版画の制作」 (素材研究)	
第10回目	平面造形—② 「型押し版画の制作」 (表現する)	
第11回目	平面造形—③ 「型押し版画の制作」 (創意工夫～まとめ)	
第12回目	遊具造形—① 「共同制作」 (グループで考える)	
第13回目	遊具造形—② 「共同制作」 (グループで表現する)	
第14回目	遊具造形—③ 「共同制作」 (グループで創意工夫～まとめ)	
第15回目	作品講評会	
事前・事後学習	造形活動での題材・素材・技法について整理する。また、制作上の問題点を明確にする。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	授業中の制作意欲 (必要な教材や素材を準備している。自己表現する準備が明確である。作品の完成に向けた取り組みが積極的である。)
レポート	50%	課題作品提出
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容 (態度含む)	20%	課題作品の自己評価及び分析等
その他		
教科書と参考図書		
特になし		
履修上の留意点・ルール		
<p>●実務経験 (職種：絵画講師 職歴：通算25年) 授業で制作する作品に必要な材料、用具類は各自が準備し、次回に制作する構想をしっかりと練る。</p>		